

新着情報

- 10月3日(土)に秋のオープンスクール(小学6年生対象)を行います。今年はオンライン配信もあります。(保護者対象入試説明会と同時開催)是非ご参加ください。詳しくは学校HPへ。

入試結果

	募集定員	受験者数	合格者数	補欠	倍率	入学者名
2016年度	200名	764名	488名	非公表	1.57倍	206名
2017年度	200名	737名	483名	非公表	1.52倍	205名
2018年度	200名	745名	484名	非公表	1.54倍	205名
2019年度	200名	722名	483名	非公表	1.50倍	221名
2020年度	200名	694名	473名	非公表	1.47倍	214名

2020年度入試平均点	
国語	81.2点
算数	76.0点
理科	26.5点
社会	28.7点
合計	212.4点

○2020年度合格最低点:非公表 ○合格者平均点:212.4点(国語81.2点、算数76.0点、社会26.5点、理科28.7点)

2020年度募集要項

◆【募集定員】約200名

- <試験日> 1月23日(土)
- <合格発表> 1月24日(日) 郵送・掲示・HP
- <試験科目> 算数・国語・理科・社会・面接

- <時間> 算数・国語各50分、理科・社会合わせて45分
- <配点> 算数・国語各120点、理科・社会各50点

学校情報

●合格発表について

- 合格発表の掲示あり。郵送にて通知。HPでも発表あり。

●合否基準について

- 合否判定は学力テストの点数を重視し、提出書類の審査と面接による審査で総合的に判断。(卒業生の家族などに対する考慮はなし)
- 英語検定2級・準2級以上取得者には、入学試験の際に優遇措置を設ける。

●帰国子女について

- 外国に2年以上、帰国後2年以内である受験生が対象(事前に連絡が必要)。
- 一般入試とは別に、誓約書と願書を配布。試験は一般入試に加え、作文と面接も実施。
- 帰国子女枠は定員(200名)に含む。事前に中学教頭へ要申し出。毎年若干名。

●英語教育について

- 英語教育には定評があり、昔からネイティブスピーカーによる分級での英会話授業があり、発音・会話能力の養成に努めている。高校では英語読書を導入。
- 中1・中2の一部と英会話は分級クラスで、3年終了時までに英検準2級取得を目指す。
- オーストラリアやハワイ、ミャンマー、カンボジアなどへの海外研修があり、また毎年海外からの留学生など来客が多く、国際理解、国際学習の一つとして英語で自己発信できるコミュニケーション能力を養成している。
- 「英語を学ぶ」のではなく「英語で考える」ことを目標とし、力を入れている。

●GIについて

- 2015年度高1から新科目GI(Global Issues)を開設。ネイティブの教員から、「平和学」や「核軍縮」などをテーマに英語で授業を受けている。

●ハイレベルセミナーについて

- 中3からハイレベルセミナーを設置。週1回、授業で扱わない発展問題で実力を養成する。1クラスで30名くらいを选拔。

●編入等について

- 転勤などによる編入は、女学院から他の私立学校(キリスト教系の同盟校約100校)へ紹介あり。
- 他の公・私立学校から女学院への編入は、学期ごとに編入試験を実施(英・数・国・面接)。受け入れは高校1年の2学期までとする(海外からの編入も国内と同様)。

●各科目の出題傾向について

- 国語:記述式の問題は、文中のことはを写すだけでなく説明が必要になる。また、的を射た解答が要求され、必要以上の解答は減点対象になる。大問3以降は、合格者の得点率は8割以上であり、中でも漢字の読み書きは正答率が高く合格者の得点率は9割以上である。
- 算数:留意点は主に4点。①問題文をよく読む②ねばり強く考える③きちんと処理する(線の引き方・作図グラフの点のとおり方)④式また

は説明を自分のことばで表す。大問1の正答率は高い。大問2以降の平面図形や規則性の問題で合否が分かっている。部分点が期待できるので、白紙で出さないこと。大問5あたりの後半も全てが難問とは限らないので、解けるものは解いていくこと。

- 社会:教科書内容の基本事項・知識の定着だけでは60%をきる。資料の正確な読み取りなどの情報処理能力が必要になるので演習を行う必要がある。歴史は、テマ史や時代の流れを理解しておく必要がある。記述式問題もある。
- 理科:物理、化学、生物、地学から全般的に出題され、配点の偏りもない。教科書レベルの基本内容の理解と発展的問題(観察・グラフ・作図)が出題されている。生物は動植物を観察しているか、化学は教科書レベルの物質の性質を理解しているかと、論理だった計算ができるかが問われる。物理は思考力やグラフの分析力があるかが問われる。地学は天体などの事象に興味・関心を持ってない生徒が多いので近年差がついている。

●入試説明会について

- 2020年10月3日(土)14:00～15:00、16:00～17:00、10月17日(土)14:00～15:00
- 3日はオープンスクールと同時開催。詳しくは学校HPをご覧ください。

●文化祭について

- 今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となりました。

●女学院クリスマスについて

- 今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となりました。

●メサイア演奏会について

- 今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となりました。

●じょがく in Loveについて

- 2021年2月上旬を予定。詳細については1月頃に学校HPに発表します。

●女学院を目指す皆さんへ

- 生活習慣に学習習慣のリズムを組み込んで下さい。
- 確かな学力と、人間として育っていくためのプログラムを用意し、生徒の皆さんと一緒に楽しく学習できることを楽しみにしています。
- 小学校での生活も大切にしてください。

●保護者の皆様へ

- キリスト教主義教育に基づく、中高一貫の女子校です。信者への強制など一切ありませんのでご安心ください。生徒のことを常に考え、その心身の成長を保護者と協力しながら支えていきます。
- あたたかい愛情に包まれて学んでいたことを多くの卒業生が実感しています。必要な厳しさも持ち合わせた指導をしておりますので、どうぞお子さまを本校に託してください。教職員全員でお待ちしています。

クラブ活動

- 体育系 ソフトテニス/バレーボール/剣道/バスケットボール/新体操(インターハイ出場多数)/卓球/ソフトボール
- 文化系 吹奏楽/演劇/合唱/茶道/中学理科/放送/英語/マンドリン(全国優勝多数)/新聞/美術/ハングル/YWCA(奉仕活動のクラブ:ハンドベル演奏やボランティア活動など)

系列学校への進学

広島女学院高校へは希望者はほぼ全員進学できる。

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。()内は過年度生の人数。

	難関国立大	広島大	国公立計	早慶上理	明青立法中	関関同立	私大合計
2016年度	15名(6)	22名(6)	83名(20)	16名(2)	35名(5)	96名(15)	392名(61)
2017年度	8名(4)	26名(3)	77名(17)	27名(7)	46名(9)	104名(11)	515名(77)
2018年度	17名(6)	23名(3)	81名(21)	18名(3)	35名(4)	124名(34)	464名(80)
2019年度	13名(2)	25名(6)	92名(18)	16名(5)	27名(10)	95名(8)	334名(58)
2020年度	12名(3)	14名(3)	75名(18)	6名(0)	31名(6)	78名(18)	288名(66)